

Logitech USB 2.0 Hard Disk Unit

セットアップガイド

66902701
LHD-EDU2L_1 V01

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。このセットアップガイドでは本製品の使用方法、取り扱いについての注意などが記載されています。必ず別紙の「安全上のご注意」をお読みになり、正しい取り扱いをしてください。また、本製品に保存したデータは定期的にバックアップを取り、紛失・破損等が起こった場合のデータの消失防止措置をおとりください。本製品に保存されたデータの破損・消失等につきましては、弊社では使用形態に関わらず、いかなる保証もいたしかねます。
※バックアップとは、本製品以外のハードディスクやDVDなどの場所へデータの複製を作ることを指します。

箱の中身の確認

はじめに箱の中に以下のものがあることを確認してください。

電源スイッチ/電源モードスイッチ
本製品の電源のAUTO/ON/OFFを切り替えます。
AUTOに設定した場合は、パソコンの電源のON/OFFに連動して本製品のON/OFFも切り替わるようになります。(PC電源連動機能)。

ファンクションボタン
本製品搭載の各種機能を使用する際に使用します。

電源表示ランプ
本製品の電源がONの時に緑色に点灯します。

USBミニコネクタ
付属のUSBケーブルでパソコンのUSBポートと接続します。

セキュリティスロット
盗難防止用にワイヤなどを取り付けておくことが出来ます。

ケーブルクランプ
付属のACアダプタのケーブルを通して抜けを防止します。

電源コネクタ
付属のACアダプタを接続します。

ライトプロテクト表示ランプ
ライトプロテクト機能が有効の場合にオレンジ色に点灯、無効の場合に消灯します。

アクセス表示ランプ
本製品内蔵のHDにアクセスが行われている時に赤色に点灯、点滅します。

ハードディスクユニット本体

※本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

※保証書はセットアップガイド・に含まれています。

USBケーブル

ACアダプタとACコード (別々に梱包されています)

セットアップガイド (本紙2枚)

工場出荷時のフォーマット形式

本製品は、工場出荷時の初期状態では「NTFS形式」でフォーマットされています。Windows Vista、Windows XP、Windows 2000では、そのままフォーマットせずにお使いいただけますが、Macintosh環境で使用する場合、出荷時の初期状態では使用できません。セットアップ手順-Macintosh環境-をお読みになり、フォーマットしてからご使用ください。

設置方向について

本製品は、縦置きのみで使うことが出来ます。ゴム足がついている側を底面にして設置してください。

その他の注意事項

- ご使用のパソコンの仕様によってはPC電源連動がうまく機能しない場合があります。パソコンがスリープ状態やサスペンド状態から復帰する際に本製品が認識されない、パソコンがフリーズするなどの現象が起こる場合は、スリープモードやサスペンドモード等の省電力機能をOFFにし、本製品の電源スイッチは「ON」にしてご使用ください。
- 本製品にはACアダプタが同梱されています。必ず付属のACアダプタを使用してください。また、本製品以外の電気製品では使用しないでください。

■製品仕様

製品型番	LHD-EDU2L シリーズ	
インターフェース	USB 2.0/1.1	
最大転送速度(理論値)	480Mbps	
コネクタ形状	USB mini-B	
環境条件	動作時	温度：5°C～35°C、相対湿度：20～80% (但し、結露なきこと)
	保管時	温度：-20°C～50°C、相対湿度：20～80% (但し、結露なきこと)
入力電圧 (ACアダプタ)	AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力(定格)	10W (ACアダプタを含む)	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	42×225×132.5mm (本体のみ、突起部を除く)	
質量	1.1kg (本体のみ)	
出荷時フォーマット形式	NTFS	
対応パソコン	USB2.0ポートを搭載する DOS/Vパソコン、Apple Macintoshシリーズ	
対応OS	Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、 Mac OS X 10.2.8以降	

セットアップ手順—Windows環境—

1. パソコンにつなぎます。

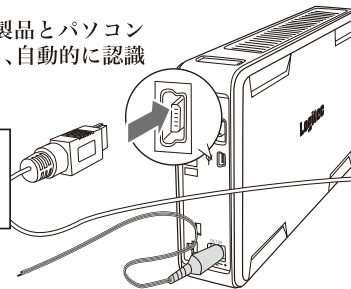
- 付属のACアダプタを使用して、本製品の電源コネクタと電源コンセントを接続し、電源スイッチを「AUTO」または「ON」にしてください。電源スイッチを「AUTO」にすると、パソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFが切り替わるようになります(PC電源連動機能)。

1.電源コンセントに接続

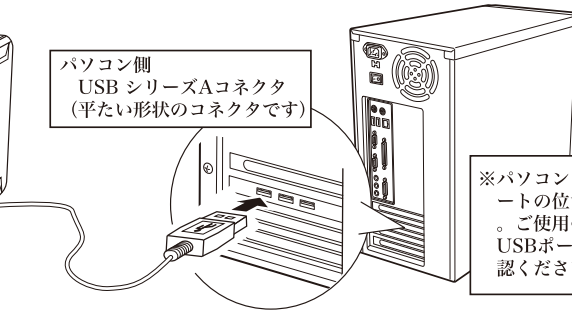


- 付属のUSBケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続してください。パソコン側から、自動的に認識されます。

本製品側
USB ミニBコネクタ
(小さく平たい形状の
コネクタです)



パソコン側
USB シリーズAコネクタ
(平たい形状のコネクタです)



※パソコンによってUSBポートの位置は異なります。ご使用のパソコンのUSBポートの位置をご確認ください。

2.モード切替を「AUTO」またはONにする

ポイント

本製品を初めてパソコンに接続した時は、「新しいハードウェアの追加ウィザード(※)」が表示されます。このウィザードは、本製品がパソコンから正しく認識されると自動的に消えますので、特に操作をする必要はありません。
※ウィザードの名称はOSにより異なります。

2. 結果を確認しましょう!

製品をパソコンにつなぐと、「マイコンピュータ」に「LOGITEC HD」という名前のハードディスクのアイコンが新しく追加されます。この「LOGITEC HD」のアイコンをダブルクリックすると、本製品へアクセスすることができます。



LOGITEC HD
Windows XPで
表示されるアイコン



LOGITEC HD
Windows 2000で
表示されるアイコン



LOGITEC HD
Windows Vistaで
表示されるアイコン

ポイント

マイコンピュータ上に本製品のアイコンが表示されない場合は、以下の点をご確認ください。

- 接続するパソコンのUSBポートを変えてみる。
- USBハブを使用せず、パソコンへ直接接続してみる。
- 電源モードをAUTOではなくONにしてみる。

セットアップ手順—Macintosh環境—

1. コンピュータにつなぎます



ポイント Macintosh環境では、本製品を接続しただけではフォーマット形式の問題からご使用になれません。ここで示す手順で本製品を接続後に、再フォーマットを行ってください。

接続は以下の手順を参考にコンピュータの電源がONの状態で行ってください。(本製品以外の外部接続の記憶装置を取り外しておいてください。)正しく接続ができたなら、本製品のフォーマットを行います。フォーマット手順は「2. 使えるようにフォーマットします」をご参照ください。

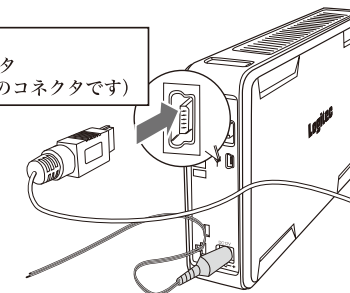
- 付属のACアダプタを使用して、本製品の電源コネクタと電源コンセントを接続し、電源スイッチを「AUTO」または「ON」にしてください。電源スイッチを「AUTO」にすると、パソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFが切り替わるようになります(PC電源連動機能)。

1.電源コンセントに接続

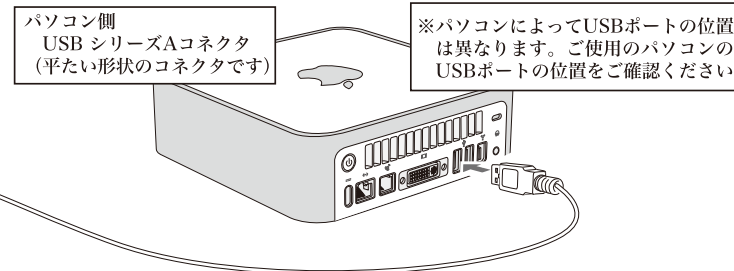


- 付属のUSBケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続してください。パソコン側から、自動的に認識されます。

本製品側
USB ミニBコネクタ
(小さく平たい形状のコネクタです)



パソコン側
USB シリーズAコネクタ
(平たい形状のコネクタです)



※パソコンによってUSBポートの位置は異なります。ご使用のパソコンのUSBポートの位置をご確認ください。

2.モード切替を「AUTO」またはONにする

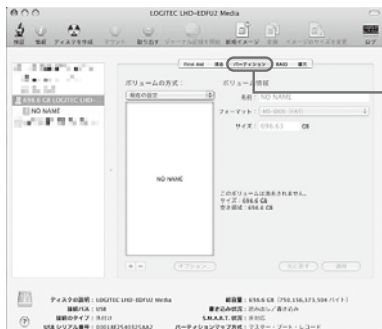
セットアップ手順—Macintosh環境—

2. 使えるようにフォーマットします

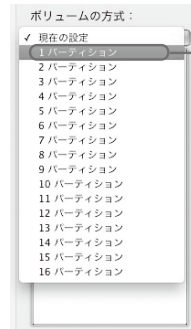
ポイント 本製品は、工場出荷時の初期状態では「NTFS形式」でフォーマットされています。Macintosh環境の場合、出荷時の初期状態ではフォーマット形式の問題からご使用できません。次の手順にてフォーマットしてからご使用ください。

Mac OS X 環境の場合

- 「アプリケーション」-「ユーティリティ」フォルダ内より「ディスクユーティリティ」を起動します。
- フォーマットを行うドライブを選択し、「パーティション」タブを選択
- 「ボリュームの方式:」にてパーティション数を選択します。



「パーティション」タブを選択してください



「パーティション数」を選択してください

- 「オプション」ボタンをクリックします。



「オプション」を選択してください

- GUIDパーティションテーブルもしくは「Appleパーティションマップ」のいずれかを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



「GUIDパーティションテーブル」もしくは「Appleパーティションマップ」のいずれかを選択してください。

「OK」をクリックしてください

- 以下のように選択して右下の「適用」ボタンをクリックします。

名前: (任意のボリューム名を入力してください)
フォーマット: Mac OS 拡張 (ジャーナリング)

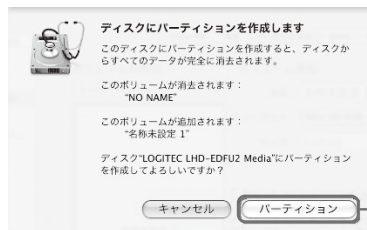


任意のボリューム名を入力してください

「Macos拡張(ジャーナリング)」を選択してください

「適用」をクリックしてください

- 警告メッセージが表示されますので、そのまま「パーティション」ボタンをクリックします。



「パーティション」をクリックしてください

3. 結果を確認します

接続とフォーマットが完了すると、デスクトップ上に右のアイコンがマウントされます。本製品へのアクセスは、このアイコンをダブルクリックして行います。



Mac OS X 環境で表示されるアイコン

本製品の取り外し方

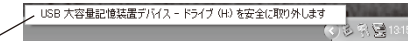
本製品を取り外す時は、本製品内に保存されているデータファイルが開かれていないこと、本製品へアクセスが行われていないことを確認してください。万一、本製品へのアクセス中やデータファイルが開かれている状態で取り外しを行うと、本製品内のデータが破壊・損失する恐れがありますので、絶対におやめください。

Windows環境の場合

- ①タスクトレイ上の「取り外し」のアイコンをクリックしてください。

- ・Windows XPの場合
- ・Windows 2000の場合
- ・Windows Vistaの場合

例 (Windows XPの場合)



- ②USB記憶装置を取り外す項目が表示されるので、これをクリックしてください。

クリック

- ③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、USBケーブルを外し、電源スイッチをOFFにして、電源コネクタを電源コンセントから取り外してください。

※Windows 2000、Vistaの場合は「OK」ボタンをクリックしてから取り外してください。

参考：本製品搭載の「簡単アンプラグ機能」を使用して取り外しを行うことも可能です。

Macintosh環境の場合

- Mac OS Xの場合は本製品のアイコンをデスクトップ下のDockにある「取り外し」アイコンに重ねてから、USBケーブルを外し、電源スイッチをOFFにして、電源コネクタを電源コンセントから取り外してください。



参考

「取り外し」のアイコンは、通常右のような「ゴミ箱」の形をしています。本製品などの取り外し可能な記憶装置を選択した場合に、「取り外し」のアイコンに変化します。



本製品搭載の機能について

※弊社Webサイトから「LHD-EDツール」をダウンロードしてご利用いただけます。

本製品には、「省電力機能」、「ライトプロテクト機能」、「簡単アンプラグ機能」の3つの機能が搭載されています。

■省電力機能について

省電力機能は、本製品に1分間データの読み書きがない場合に、ドライブの回転を停止し、無駄な待機電力をカットする機能です。※本機能は、本製品が記憶していますので、他の環境に接続した場合も機能します。また、ドライブの回転が停止状態であっても、本製品にアクセスするとすぐに復帰します。

■ライトプロテクト機能について

ライトプロテクト機能は、本製品への書き込みを禁止する機能です。

■簡単アンプラグ機能について

簡単アンプラグ機能は、本製品天面の「ファンクションボタン」の操作により、簡単に取り外し/再接続(再認識)を行うことが出来る機能です。

ソフトウェアについて

弊社ホームページでは、ハードディスクユニットを快適に使用するために、以下のソフトウェアをダウンロード提供しています。必要に応じてご利用ください。ここで紹介するソフトウェアは、Windows環境でのみご使用になれます。



ソフトウェアによっては、ダウンロードに製品のシリアルナンバー(製造番号)の入力が必要になることがあります。シリアルナンバーは製品本体の銘板シールでご確認ください。

■Logitec LHD-EDツール (http://www.logitec.co.jp/down/soft/uty/ed_t.html)

本ツールを常駐しておくことで、製品のボタンに連動した機能を利用することができます。

- ・ライトプロテクト機能：HDユニットへの書き込みを禁止することができます。
- ・簡単アンプラグ機能：OS上でのHDユニットのアンプラグをボタンの操作で行うことができます。

■Logitecディスクデータイレイサ (http://www.logitec.co.jp/down/soft/uty/d_e.html)



HDドライブに書き込まれたデータは、OS上でのファイルの削除、さらにはフォーマットを行った後でさえ、復旧できるかのうせいがあります。「Logitec ディスクデータイレイサ」は、増設HDドライブの全セクタに、ランダムデータを上書きして元データの消去を行います。元データに異なる内容のデータが上書きされますので、パソコンで元データの読み出しを行うことはできない状態になります。増設HDドライブの破棄や譲渡を行う場合、データの漏洩対策に役立ちます。

■Logitecフォルダミラーリングツール (http://www.logitec.co.jp/down/soft/uty/f_m.html)



「Logitec フォルダミラーリングツール」は、指定されたフォルダを監視して、変更されたファイルをバックアップ先のフォルダに自動的にコピーします。バックアップしたいフォルダとバックアップ先を指定しておくだけで、指定した二つのフォルダの内容を常に同一に保ちます。ファイルの変更を検出した時点でコピーを行い、コピーは全て自動で行われるため、バックアップ作業を特に意識する必要はありません。頻繁に変更のかかるデータのバックアップに、特にお勧めです。

■Logitecディスクフォーマッタ (http://www.logitec.co.jp/down/soft/format_s/d_fmt.html)



「Logitec ディスクフォーマッタ」は、ハードディスクのフォーマットや、フォーマット情報の削除、パーティションの作成など、フォーマットに関する便利な設定を簡単な操作で行うことができます。